

羽子板作り

毎年恒例のFikaクラフト作りを行いました。今年は午年をイメージした羽子板作りに挑戦しました。



可愛くて凛々しい馬は、SAORI織りの小坂先生の作品です。今年のフィーカ須磨の丘の玄関の主役です！



クリスマス会

フィーカの入居者主催によるクリスマス会を行いました。家族、友人を含めて総勢40名規模のクリスマス会になりました。コーラス・親子デュオ・ハーモニカとコカリナ演奏などなど楽しいひと時を過ごされました。



元旦は、恒例の振る舞い甘酒で心身を暖めて屋上から初日の出を拝みました。平和で穏やかな一年になりますように。



ギャラリー案内



1月のギャラリーは、『奥 純江 フランスししゅう糸絵展』を開催しています。主に花の作品が多く、スケッチした花を絵画の感覚で刺繍をしています。指導者の戸田先生の作品と共に展示しています。是非、近くで繊細な作品をご覧ください。1/28(日)まで開催しています。詳細はHPをご参照ください。



2月展示予定 里井 純子 作品展

学生時代に染色家 大槻圭子の作品と出会い、師について染色を始める。この時の色へのこだわりが、現在の描写から始まるクレパス画へと進んでいきました。開催は、2/1～2/24の期間になります。

お知らせ

2026年度から「須磨の丘」を今号でお休みとさせていただきます。夏号から「きらくえん」の広報誌に統合・リニューアルします。当施設の取り組みは引き続きインスタグラム・ホームページでもご覧いただけます。

須磨の丘から

～歴史のまちで
福祉・文化をつなぐ～

社会福祉法人きらくえん
KOBE 須磨きらくえん

〒654-0111 神戸市須磨区車字菅ノ池1351-14
TEL:078-747-3001(代) FAX:078-747-3002
URL: <http://www.kirakuen.or.jp>

第37号

2026年(令和8年)1月発行

新年のご挨拶



二〇二六年

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

かけしますが、ご理解を賜りますようお願い致します。

そして、昨年は「障がい者雇用優良事業所」として兵庫県の知事表彰を受け、サービス付き高齢者向け住宅「フィーカ須磨の丘」が医療福祉建築賞を受賞する嬉しいニュースが続きました。その他にも県の「ノーリフティングケア優良モデル施設」の認定、また尼崎市の「外国人材の雇用・育成・定着支援モデル事業所」の認証を受けました。

本年は神戸市において、4月から他法人の事業を継承し、障がい福祉事業を新たにスタートします。ご利用者の尊厳を守る支援と役割づくりに取り組み、事業の継続と発展を目指していきたいと思っています。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年 日本は昭和100年、戦後80年、阪神淡路大震災から30年を迎えました。

また、日航機墜落事故から40年、福知山線の脱線事故から20年の節目の年でもありました。世界では激化する武力紛争が深刻な人道危機を招き、過去の歴史や災害・事故の教訓から、何物にも代えがたい“命の尊さ”について考えさせられる一年となりました。

また、大阪では55年ぶりに万博が開催されました。きらくえんでは入居者自治会の発案で職員とご入居者が博覧会に出かけました。熱中症が心配でしたが、車椅子で元気に会場内を巡り思い出に残る一日となりました。

法人のトピックスでは、築43年となる喜楽苑の大規模改修工事が始まりました。経年劣化箇所の修繕、設備更新、美観改修を行い、3月末の完工を目指しています。工事中はご不便をお

2026年 元旦

きらくえん 理事長 土谷 千津子

新年のごあいさつ



謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中はKOBE須磨きらくえんの事業運営に対し、ひとかたならぬご指導・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

戦後80年を迎えた昨年、広島で平和の尊さを改めて学ぶ機会をいただきました。かつて日本各地が焦土化した歴史から「過ちは繰り返さない」と世界に宣言をしたはずが、南西諸島の軍事要塞化や防衛関連予算のGDP比2%への増額、そして非核三原則の見直し論まで浮上しています。世界に目を向ければ戦争や紛争により、日々多くの命が奪われ、終末時計は過去最短の89秒を指しています。戦後80年を経ても繰り返される悲劇、今こそ歴史に学び、誰もが尊厳を守られ安心して暮らせる平和社会を希求しなければなりません。

社会に目を向けると物価高騰などによる閉塞感の一方で、ノーベル賞のダブル受賞や各界での若い世代の活躍など希望を感じるニュースも届きました。

本年の冬季オリンピックやサッカーワールドカップをはじめ、スポーツの祭典を通じて、国籍や人種、性別を超えた明るい話題が広がることを願ってやみません。

さて、本年の介護保険制度においては、臨時改定の実施と第10期改定に向けた重要な局面を迎えます。KOBE須磨きらくえんではこれまで注力してきた「ノーリフティングケア」やテクノロジーの活用による生産性向上の取り組みを具体的な業務改善につなげ、職員がよりやりがいを持って働ける職場環境を構築してまいります。入居者、利用者皆様の人権を守り、生活に豊かさや彩りを添える支援を行い、「ふつうの暮らし、あたりまえの暮らし」を大切にしております。また4月から他法人の事業を継承し、就労継続支援B型とグループホームの2つの障がい福祉事業を行います。地域の方々と力を掛け合わせ新しい価値、面白い試みを共創し、多世代が集う「ノーマライゼーションビレッジ」を更に前進させる飛躍の一年にしてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

KOBE須磨きらくえん

施設長 小林 大洋



三田きらくえんコーナー



デイサービス山帽子では、12月も季節の移ろいを感じられる行事やものづくりを通して、年の締めくくりにふさわしい時間を過ごしました。

地域の方からいただいた渋柿を使い、干し柿づくりに挑戦！下処理したのち、日ごとに変化していく様子を楽しみました。今年の三田の晩秋は寒さが厳しかったこともあり、二週間ほどで甘みのしっかりとした干し柿に仕上がりました。



クリスマス会では、テーブルクロスや衣装をXmas仕様に模様替え！個々のケーキにデコレーションのトッピングを楽しみ、出来上がったケーキでテーブルを囲みながら笑顔あふれるひとときとなりました。



長年ボランティアとしてお世話になっている黒田茂さんのご指導の下、しめ縄づくりを行いました。手作りのしめ縄で新年を迎えることが出来て、皆さん、どこに飾ろうかと、ご自身のしめ縄をじっくり眺めていました。



デイサービス山帽子では、このような取り組みを通して、季節を感じることや、手を動かすこと、皆さんと時間を共有することを大切にしています。今年も、利用者の声を聞きながら、ものづくりを行っていきます。